

「能登半島地震」対策ニュース

全国災対連 (災害被災者支援と災害対策改善を求める全国連絡会)
〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4階 全労連内 TEL03-5842-5611 FAX03-5842-5620

2024年3月25日
NO. 7

4月からボランティア活動開始 全労連・石川災対連と共同で当面3回

全国災対連は、3月19日に臨時事務局会議を開き、全労連・石川災対連と連携・共同して4月から能登半島被災地震災ボランティア活動をおこなっていくことを確認しました。

◎ ボランティア派遣期間

第1回：4月5日(金) 6日(土) 7日(日)

第2回：4月19日(金) 20日(土) 21日(日)

第3回：5月10日(金) 11日(土) 12日(日)

・第4回以降の活動については、被災地の復旧・復興状況、ボランティア参加状況等をふまえて、今後検討し具体化していくこととなります。

◎ 集合場所

「全国災対連・石川災対連現地事務所」(「被災者支援共同センター」内) 次項参照

TEL 携帯 090-8342-0227) → 4月中 FAX→手続中

〒925-0026 羽咋市石野町ト13番地 被災者支援共同センター TEL 0767-23-5107

・詳細については全国災対連3月21日付案内文書

自治労連

全国からのカンパを輪島市・石川県へ届ける



自治労連本部は、3月18日、輪島市を訪問し全国から寄せられた義援金300万円をとどけ、現在の被災状況の聞き取りと懇談を行いました。自治労連としては災害後2回目の訪問となります。自治労連本部から桜井眞吾委員長(中央)、武田敦中執、石川県事務所から八田好弘(左)さんほか2人が参加、輪島市防災対策課の黒田課長が対応しました。桜井委員長は、東日本大震災の経験と現状に触れながら「復興には長く時間がかかるかと思う、自治労連も

引き続きカンパの呼びかけや、ボランティアにも協力していきたい」と連帯の意向を伝えました。黒田課長は「全国からたくさんの支援に感謝します。震災直後は大変でしたが、おかげさまで職員も少し体を休めることができるようになりました。一般ボランティアの受け入れは県が采配し、輪島市内は現地からだけに限っています。奥能登の交通インフラ整備と物資補給を最優先になっています」と説明しました。翌19日、桜井委員長は石川県庁を訪問し義援金300万円を届けました。自治労連としては災害後2回目の訪問となります。(自治労連速報 2024年3月19日 第100号)



羽咋市ボランティアセンターの外観



(車の整備工場と商ルームのあと地の建物です)



左側に ボランティアセンター



駐車場もあります



上：駐車スペース 下：集合場所



上：1階奥 下：物資スペース

